

実施した事業と成果

定例会は、9月1日から16日までの16日間の会期で開かれました。一般質問、7人の議員が登壇し、令和3年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定等の議案27件が提出され、いずれも可決認定されました。

一般会計の歳入決算額の約21%を占める村税は、継続して収入未済額が縮減し、徴収率が複数年度継続して向上していることは大いに評価します。他にも児童保育料、村営住宅使用料も収入未済額が縮減し、国民健康保険・介護保険・学校給食の特別会計でも収入未済額が縮減しています。一方で、住宅新築資金等貸付特別会計は、縮減に向けた計画的で強力な取り組みを早急に講じていただきたいです。本年7月に発覚した複数職員の不祥事は看過することはできません。職員一人ひとりの業務遂行能力の向上を期待すると同時に、業務量の実情に見合った組織体制の見直しと適切な職員の定数管理に期待します。

小池秀樹代表監査委員



南部第三学童保育所建設整備
5365万円



入所定員が増え待機児童減少

学童の待機児童対策として新たに45人の受け入れが可能な南部第三学童保育所を建設し、備品等を購入しました。

北谷地・大藪線開通
(高渋バイパスアクセス道3号線)
1億9081万円



歩道の整備や県道へアクセスする利便性高まる

改良舗装工事費1億2002万円の内、防衛省から8141万円の補助金を受けて、整備をしました。

新型コロナウイルスワクチン接種
1億341万円



延べ3万1160人に接種

南部コミュニティセンター及び医療機関等において、1回目～3回目のワクチン接種を実施しました。

令和4年3月31日までの接種率

接種率 (%)	1回目	2回目	3回目
全年齢	81.71	80.88	51.17
65歳以上	95.43	95.14	88.69

新型コロナウイルス感染症対策

100%のプレミアム付き商品券発行
6811万円



約1億2千万円の商品券が村で使用

経済活性化対策として村民1人につき商品券1セット(1万円分を5千円で)購入できる引換券を発行しました。全部で1万2102セットを販売し、99.34%の1億2021万9千円の商品券が村内で使用されました。

防災中枢機能施設の整備始まる
(公民館と給食センターの機能をもつ防災拠点施設)
3億2039万円



地権者の同意を得て用地を取得

実施設計業務、用地買収事業の費用2億8510万円の内、防衛省から2億1383万円の補助金を受けて実施しました。



令和4年度は造成工事を行います。造成工事の請負契約はP25を参照してください。

